

No.36 糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c<7.0%について



P (PLAN : 課題設定)

- ・糖尿病の管理目標が達成できていない患者を中心に、個別に問題点を抽出し、課題の解決を図ることを目標としました

D (DO : 実施)

- ・インスリン分泌能の再評価を実施しました
- ・持続血糖測定機を使用し、血糖プロファイル上の問題点を把握したうえで介入を行いました
- ・新規薬剤の使用も含め、治療内容の再評価を行いました
- ・患者教育入院の推進に取り組みました
- ・特に血糖コントロール不良の割合が高い1型糖尿病患者については、合併症評価を全例で実施しました

C (CHECK : 評価)

- ・HbA1c 7%未満の患者割合が40%を超えたことから、一定の活動成果があったものと評価しました
- ・新規GLP-1受容体作動薬やイメグリミンが使用可能となったことも改善に影響したものと考えられました
- ・一方で、個々の患者に対する糖尿病教育については、まだ十分とはいえない状況でした

A (ACT : 改善方針)

- ・教育入院の受け入れ状況は十分とはいえないため、プログラムの改訂およびクリニカルパスの見直しを検討してまいります
- ・治療内容や評価方針については、現時点で大きな問題はないと考えられるため、現在の取り組みを継続してまいります